

「はぐくみ」

令和6年2月
麦・もんもん
病児保育室



暦のうえでは春ですが、寒い日が続き、暖かい春の日ざしはまだ少し遠いようです。

2024年はお正月に地震や航空機の事故があり、心穏やかではなかったかもしれません(心が痛みましたね)。

被災された方々にお見舞い申し上げます。

子ども達は2023年度いろいろな感染症の流行がありました。

今回は、病児保育室でインフルエンザの次に利用予約が多かった感染症「アデノウイルス感染症」と、「子どもがいるご家庭の非常用持ち出し袋に必要なもの」についてお伝えしたいと思います。

アデノウイルス感染症

国立感染症研究所のホームページには、「アデノウイルスには51種類の血清型および52型以降の遺伝型があり、A～Gの7種に分類される」とありました。難しいですね。

アデノウイルスに感染すると型により、呼吸器感染症、咽頭結膜熱、流行性角結膜炎、胃腸炎、出血性膀胱炎を発症します。アデノウイルスでも型により、病気が違うのですね。

多くの型があるため、免疫がつきにくく、何回もかかることがあります。

アデノウイルスの中でも病児保育室を利用されることが多い、咽頭結膜熱についてお話します。

咽頭結膜熱

アデノウイルスの3型または7型に感染することで発症します。

潜伏期間:5～7日で、症状が出る2日ほど前から、他の人にウイルスを感染させる可能性があります。

感染経路:咳やくしゃみを吸い込んで感染する「飛沫感染」とウイルスが付着した手や指を介する「接触感染」です。

また、以前はプールの利用による感染がみられたためプール熱と呼ばれていました。

症状:1日の中で体温が37度から40度の間で上がったたり下がったりすることが4～5日ほど続きます。扁桃腺の腫れ、喉の痛み、耳や首のリンパ節の腫れ、両目または片目の充血、目やに、腹痛、下痢、頭痛、倦怠感などの症状がみられます。多くの症状がありつらいですね。病児保育室を利用された子どもさんもお熱が高かったです。

治療:アデノウイルスに直接効果がある薬はまだありませんので、症状をやわらげる治療(対症療法)がおこなわれます。具体的には喉の痛みをやわらげるような薬や解熱鎮痛剤、目の症状に対して目薬などです。脱水にならないように水分を充分摂り(少しずつこまめに飲みましょう)、喉の痛みが強い時は飲み込みやすい食事にしましょう。熱いもの、すっぱいものはしみますので避けるようにしましょう。たとえば、さました雑炊、プリン、アイスクリームなどです。高熱の時はゆっくり休みましょう。

登園・登校:診断されたら連絡をしましょう。学校保健安全法で基準が設けられており、主な症状が消えた後2日を経過するまでお休みします。

感染予防:基本的な対策として、まずはマスク、手洗い、うがい、アルコール手指消毒を行いましょう。アデノウイルスはウイルスの構造から、アルコールが効きにくいので、流水と石けんによる十分な手洗いが大切です。

嘔吐で汚れたもの等の消毒には、次亜塩素酸ナトリウム(ミルクポン®ハイター®など)が有効です。次亜塩素酸ナトリウムは取り扱い説明書をよく読んで使いましょう。



子どもがいるご家庭の 非常用持ち出し袋に必要なもの



地震等による災害が発生すると、非常用持ち出し品を点検されるご家庭も多いと思います。子どもさんがいるご家庭では特に心配になりますね。

非常用持ち出し品には1次持ち出し品(避難時すぐ持ち出す)と2次持ち出し品(避難後少し落ち着いてから安全を確認して自宅に戻って持ち出す)があります。

乳幼児がいるご家庭では、一般的な非常用持ち出し品に加えて1次持ち出し品の中に次のような物が必要になります。

<1次持ち出し品>

- ・母子健康手帳
- ・粉ミルク(パック・キューブ)または液体ミルク
- ・哺乳瓶と乳首 ・飲料水 ・ベビーフード
- ・紙おむつ
- ・全身・おしり拭き ・タオルやガーゼのハンカチ
- ・赤ちゃんの肌着・服(歩くことができる子どもは靴)
- ・ビニール袋
- ・抱っこひも・あたまのカバー(頭を保護するもの)
- ・おもちゃ(好きなおもちゃやタオルなど)
- ・保温用のカイロやシート

※赤ちゃんのミルクの哺乳瓶がない、洗えない場合はコップやスプーンを使って飲むこともできます。紙コップとスプーンを準備しておくともよいでしょう。

建国記念の日

2月11日は国民の祝日です。

1966(昭和41)年に「建国をしのび、国を愛する心を養う」という意味で、「建国記念の日」として制定されました。絵本や地図などを見て、日本はどんな国なのか、どんな形をしているのかなど、子どもたちといっしょに考えてみる機会にしていきたいですね。

ありがとうの日

3月9日は「サンキュー」のごろ合わせで、「ありがとうの日」です。1年間を振り返ると、お世話になった人、助けてもらった人、友達、先生、おうちの人など、いろいろな人たちが思い浮かびます。学校や園生活を振り返り、すべての人に感謝して、新しい年度を迎えたいですね。

麦・もんもん病児保育室



2024年4月に開室4年目を迎えます。平塚駅から徒歩約7分、生後6か月から小学6年生までの、病気のかかりはじめから治るまでのお子様をお預かりする施設です。保育園、医療機関併設型ではありませんが、施設の1階に連携医療機関の小児科があり、姉妹園のもんもん保育園で給食を提供しています。隔離室もあるため、インフルエンザやアデノウイルス感染症などのお子様も利用できます。時期によってはインフルエンザの流行などにより、その他の感染症のお子様は利用しづらい場合があります。

今回、非常用持ち出し袋についてお伝えしましたが、麦・もんもん病児保育室では地震の時は揺れがおさまった後、もんもん保育園の屋上(海拔 15.2メートル)に避難します。病児保育室の職員も定期的に保育園の避難訓練に参加し、各施設の職員の意識を高めています。

あずかるこちゃん



麦・もんもん病児保育室

